

30年代 の行路



二大戦の中間期はブローニュ＝ビヤンクールにとって、多くの建築作品が輩出した時期でした。マレ＝ステヴァンスのようなアヴァンギャルド様式、クレージュのような伝統様式、またはテリーに代表される新古典様式を標榜する多数の建築家が、市の中心部や北部に芸術家のアトリエ、公共建造物、集合住宅などを建設しました。

気運は財界人、芸術家、または役人層といった大胆で自由な出資者からの好意によりさらに高められました。中でも最も見識のある出資者たちによって実現されたのが、ル・コルビュジエがアメリカ人ジャーナリスト、クックの依頼で手がけた邸宅のような傑作の建築です。

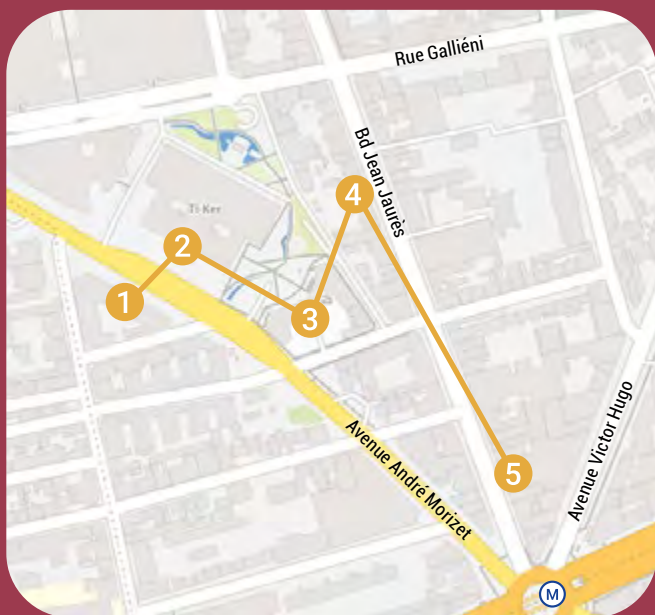
この街を探索するにあたり、3つのコースをご提案いたします。いずれも30年代の建築の豊かさと多様性を味わえるよう考案されています。どうぞ探索をお楽しみください。

Pierre-Christophe Baguet

ブローニュ＝ビヤンクール副市長

グラン・パリ・セーヌ・ウエスト会長

第1コース アクセスマップ



1 中央郵便局 (1938 年)

27, avenue André-Morizet

Charles Giroud が手がけた中央郵便局は、アンドレ・モリゼがブローニュ＝ビヤンクルの中心部に置きたいと考えた、行政地区で市庁舎に次いで第二の建造物です。

行政用という建物の用途にもかかわらず、中央玄関の鉄細工の装飾に見られるように、建物全体が入念に設計されています。



中央郵便局
Charles Giroud (1871-1955)

2 市庁舎 (1934 年)

26, avenue André-Morizet

1930年代の行政用建造物のこの傑作を建築家トニー・ガルニエに依頼したのは、当時ブローニュ＝ビヤンクルの市長兼上院議員であったアンドレ・モリゼでした。形と用途がはっきり異なる2つの建物からなる市庁舎は、革新的な設計となりました。外装材にコンブランシアン石灰岩を使い、高い窓をあしらった壮大な構えの南側正面はレセプションホールや市議会会議室に通じ、むき出しのコンクリートと明かりを大きく取った窓のある北側正面は行政機能を抱えています。

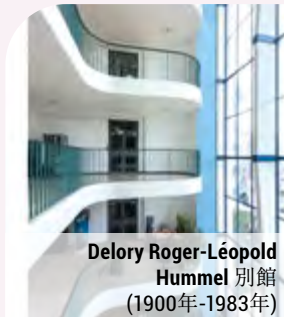


市庁舎
Tony Garnier (1869-1948)

3 Delory 別館 (1946 年)

24 bis, avenue André-Morizet

アンドレ・モリゼは「自分の行政地区」を完成させるために、市立診療所の設計を建築家の Roger-Léopold Hummel に託しました。建物に入ると非常に明るい中央大ホールがあり、そこから一方には長くカーブをなした翼棟と、反対側には短く丸い翼棟が出ています。建物が完成したのは第二次世界大戦終了後でした。



Delory Roger-Léopold
Hummel 別館
(1900年-1983年)



Beurekdjian 館
Beurekdjian

4 **Beurekdjian 館 (1936 年)**

140, boulevard Jean-Jaurès

一人の医師が建築家 Beurekdjian に建築させたこの投資用建物は、チェック模様の珪岩やロジニアの近代的なアレンジといった、ファサードの外装が際立ちます。



Wybo 館
Wybo (1880-1943)

5 **Wybo 館 (1936 年)**

187, boulevard Jean-Jaurès

小売チェーンの Prisunic が当地の店舗建設を、お抱え建築家の一人 Wybo に任命しました。建物の内装は本質的に変更されましたが、赤レンガとホワイトストーンを用いた外装は今なおそのダイナミズムを保っています。

第2コース アクセスマップ



ミスチャニノフ&リプシツツ荘
Miestchaninoff et Lipchitz
Le Corbusier (1887-1965)

- 1 ミスチャニノフ&リプシツツ荘
**Miestchaninoff et
Lipchitz (1924 年)**
5, rue des Arts & 9, allée des Pins

私道は市が提供する「30年代の
行路」ガイド付き見学の際にのみ
通行可。

ル・コルビュジエはアール通りと
パン通りの十字路に2軒の住居兼
アトリエを建てました。1軒は彫刻
家ミスチャニノフ、もう1軒は彫刻
家リプシツツの依頼によるもので
す。小道で直結しているアトリエ
同士は北向き、住居の方は南向
きで庭に開いています。リプシツ
ツ荘は外装と内装の極彩色が際
立ちます。

2 投資用建物
(1933 年 - 1936 年)
5, rue Denfert-Rochereau

ル・コルビュジエがこの三角形の敷地に1927年に建設したヴィラは、所有者の希望により投資用建物に建て替えられました。新しい建物の設計を担ったのが建築家ジョルジュ＝アンリ パンギュソンですが、彼はここで大型客船をイメージしたことから、船の丸窓や、船首の形に丸みをつけた角がデザインされました。



投資用建物
Georges-Henri
Pingusson (1894-1978)

3 Collinet 荘 (1926 年)
8, rue Denfert-Rochereau

ロベール・マレニステヴァンスがコリネ一家の命で設計したヴィラは、左側に階段を設置した垂直のブロック、そして水平のラインを使った個室（業務室、客間、寝室）による「立方体」からなる、2つの部分に分かれます。



Collinet 荘
Robert Mallet-Stevens (1886-1945)



4 Cook クック邸 (1927 年) 6, rue Denfert-Rochereau

ル・コルビュジエと従兄弟のピエール・ジャンヌレは1926年、近代建築の五原則を体現しました。それは建物を地面から持ち上げるピロティ、屋上庭園、自由な平面、水平連続窓、自由なファサードです。

Cook クック邸
Le Corbusier (1887-1965)

5 Dubin 荘 (1928 年) 4, rue Denfert-Rochereau

鉄筋コンクリートの構造およびなめらかで白い外観のヴィラの建築を Raymond Fischer に依頼したのはファッションクリエーターのシュザンヌ・デュバンでした。

エレガントな隣家2軒にこのヴィラが加わり、現代建築の「トリプティカ (三部作)」をなしています。



Dubin 荘
Raymond Fischer (1898-1988)



Lombard の住居兼アトリエ
Pierre Patout (1879-1965)

6 **Lombard** の住居兼アトリエ (1928 年) 2, rue Gambetta

建築家のピエール・パトゥはここで、三角形になった敷地の北側先端を隅切りしたデザインを選びました。ファサードの最上階に出資者である画家 Alfred Lombard のアトリエを設置しました。



Niermans 邸
Jean Niermans (1897-1989)

7 **Niermans** 邸 (1935 年) 3, rue Gambetta

建築家 Jean Niermans の私邸は2つのファサードをもち、ダンフェール＝ロシュロー通りに面した一方はどちらかと言うと古典的スタイル、ガンベッタ通りに面したもう一方はより独創的で、縦型の切り込み、2つまたは3つの開き戸をもつ窓、そしてひとつの採光窓を採り入れています。

8 私邸 (1931 年)

5, rue Gambetta

建築家のエミリオ・テリーはこの私邸のファサードの装飾に際し、ピラスター、軒蛇腹、持ち送りのついたペディメントといった、ネオクラシック様式特有の要素を用いましたが、これもまた二大戦の間の時期に流行したものです。ボクシング リングを設置するのに十分な大きさのこの家で、歌手のエディス ピアフはボクサーのマルセル セルダンとの生活を想像しました。ラ・モームは1949年から1951年までそこに住んでいました。



私邸

Emilio Terry (1890-1969)

9 私邸および集合住宅 (1934 年)

8-14, rue Gambetta

建築家 Marcel Julien および Louis Duhayon による私邸と投資用建物は、古典的かつアール・デコ、現代的な建築要素を採り入れ、周囲の建築様式にエレガントに溶け込んでいます。

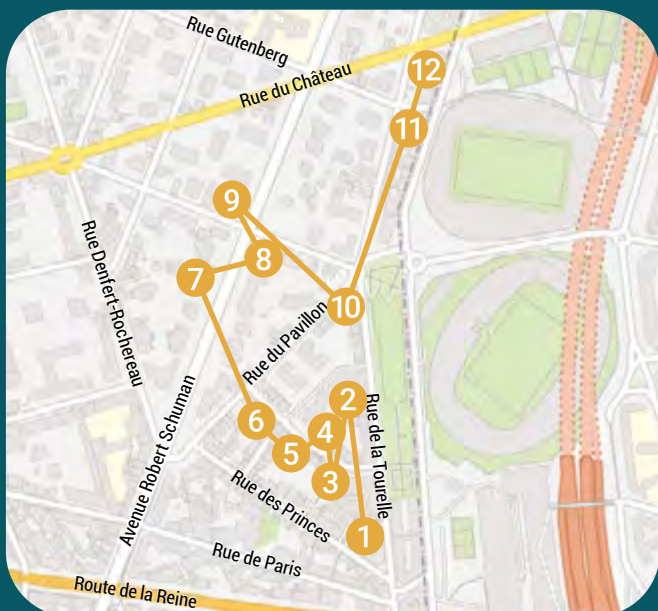


私邸および集合住宅

Marcel Julien et Louis Duhayon (1884-1968)



○ 第3コース アクセスマップ





集合住宅
Constant Lefranc (1885-1972)

1 集合住宅 (1931 年)

60-62, rue de la Tourelle

建築家 Constant Lefranc が企業 Urbaine et Seine および Urbaine-vie の依頼で手がけた建造物は、石張りのファサード、大胆に突き出したバルコニー、大きな張り出し窓など、その全体から力強い印象が感じられます。

2 集合住宅 (1924 年)

52, rue de la Tourelle

建築家 Urbain Cassan が手がけたこのビルの、ペリー産石とコンブランチアン石灰岩を用いたファサードの裏にあるのは、完全なコンクリート構造です。メイド用の部屋は伝統的には最上階に作るものでしたが、それに反して1階に設置されました。



私邸

Raymond Bornay,
Raymond Fischer (1898-1988)

3 私邸 (1927 年 および 1929 年)

4 et 5, rue du Belvédère

建築家 Raymond Bornay はこの私邸の設計にあたり、建物のラインを通りのカーブに合わせて描きました。この結果、削り形、採光窓、欄干といった古典的な装飾を使った凹形のエレガントなファサードが生まれました。その正面には建築家 Raymond Fischer が手がけた装飾のない凸形の私邸があります。

4 Jean Hillard 荘
(1935 年)
6-12, rue du Belvédère

これら5軒のヴィラは、使用された素材 - レンガ、石、スレート、瓦 - により、イギリスの通りを思わせます…

建築家 Jean Hillard の作品です。



Jean Hillard 荘
Jean Hillard

5 住居兼アトリエ Froriep de Salis (1927 年)
9, rue du Belvédère

通りに面したこのヴィラのファサードは、芸術家のアトリエがあることを示す大きな水平の窓と、入口まで伸びるコンクリートのパーゴラを特徴とします。この邸宅を手がけたのは建築家、アンドレ・リュルサでした。



住居兼アトリエ Froriep de Salis
André Lurçat (1894-1970)



Dora Gordin 荘
Auguste (1874-1954) et Gustave Perret (1876-1952)

6 Dora Gordin 荘 (1929 年)

21, rue du Belvédère

ペレ兄弟はここでヴィラ2軒を手がけますが、そのひとつが当初のエレガンスを保っている Dora Gordin 荘です。むき出しの鉄筋コンクリートの使用と伝統的なフォルムが対比しています。たとえばファサードを飾るコーニス、その中心に至極詩的な「要石」をあしらっています。これに対し、兄弟が Marguerite Huré の依頼で手がけたヴィラ マスターグラスメーカー（25番地）は本質的に改修されました。



7 Joseph Bernard

ジョゼフ・ベルナールのアトリエ
(1921 年)

24, avenue Robert-Schuman

ジョゼフ・ベルナールはその彫刻アトリエの設計を、建築家のシャルル・ブリュメに託しました。建物のシンプルさは、ファサードのコーニスにはめ込まれた芸術家の彫刻作品 Frise de la danse を浮き彫りにしています。

Joseph Bernard
ジョゼフ・ベルナールのアトリエ
Charles Plumet (1861-1928)

8 Renard 邸 (1928 年)

19 bis, avenue Robert-Schuman

アンドレ・マルローが1945年～1962年に住んだこの私邸の設計にあたり、建築家 Jean-Léon Courrèges はレンガ、瓦、傾斜した屋根、切妻壁など、この土地の特性全体と融合した、伝統的な素材や形を優先させました。



Renard 邸
Jean-Léon Courrèges (1885-1948)

9 Dujarric de la Rivière 邸 (1930 年)

2, rue Salomon-Reinach

ここではすべてが、出資者 Dujarric de la Rivière 夫人のパイプオルガンを置いた客間を際立たせるように造られました。窓を大きく取り明るくしたこの部屋は、2階分と建物の半分のスペースを占めています。

パイプオルガンはその後、取り払われました。



Dujarric de la Rivière 邸
Louis Faure-Dujarric (1875-1943)

10 私邸 (1937 年)

1, rue du Pavillon

主要ファサードに凹形カーブと突出部に凸形カーブを使ったデザインが、俳優アルベール・プレジャンの依頼で建築家 Marcel-Victor Guilgot が設計したこのヴィラに遊び心を与えています。建物の入口は両脇にあります。



私邸
Marcel-Victor Guilgot



Molitor モリトール集合住宅
Le Corbusier (1887-1965)

11 **Molitor** モリトール集合住宅 (1934 年)

24, rue Nungesser-et-Coli

スポーツ施設やブローニュの森がすぐ近くにあり、二方向から採光する可能性をもったこの地は、素晴らしい街としての条件がそろっていると見ていたル・コルビュジエを歓喜させました。コンクリートの構造、ガラスと鋼鉄を使ったファサードなど、彼がここに建てたビルはまさに現代性を具現化したものです。巨匠はこのビルの最上階を自らの住居兼アトリエとしました。



ビル
Jean Fidler

12 **ビル** (1930 年)

14, rue Nungesser-et-Coli

トゥレーヌ通りからナンジェセール・エ・コリ通りまで広がるこの建物は、建築家 Jean Fidler が手がけたものです。

丸い形の張り出し窓、アーチ型のフランス窓、花柄の鉄細工などが、贅沢な造りのこの建物にエレガンスを添えています。



『ブローニュ＝ビヤンクール、
芸術と歴史の都市』
美術館、記念碑、散策

価格：12ユーロ

『ブローニュ＝ビヤンクール
アール・デコ』

価格：39ユーロ



書籍はブローニュ＝ビヤンクール観光案内所
でご購入いただけます



ガイド付き見学のアレンジ・お問い合わせは **+33 1 41 41 54 58**

ブローニュ＝ビヤンクール観光案内所

25 AVENUE ANDRÉ MORIZET, 92 100 BOULOGNE-BILLANCOURT

Tel : 01 41 41 54 54

Courriel : contact@otbb.org

www.otbb.org



BOULOGNE-
BILLANCOURT

